

●緩和ケア

8月号でご挨拶いたしました、緩和治療科科長山川が、今号からこの項を担当いたします。よろしくお願いいたします。

さて、第一回ですが、昨年発売された便秘の治療薬、スインプロイク錠®を取り上げます。近年便秘薬の新薬上市が相次いでいますが、これは「オピオイド誘発性の便秘」の特効薬です。これまでオピオイドの便秘には通常の便秘薬で対処するしかなく、「アクセル(下剤による刺激)とブレーキ(オピオイドによる腸管抑制)を同時に踏む」という不自然な状況でした。

スインプロイクはモルヒネに重い側鎖をつけた構造で、脳血液関門を通しにくいことから、中枢性の鎮痛効果を阻害することなく、オピオイドの腸管抑制作用を競合阻害する薬剤です。つまり「ブレーキを解除」する日本で初めての薬剤です。スインプロイクは、医療用麻薬使用時だけでなく、リン酸コデインや、腰痛等で頻用されるトラマドール製剤もオピオイドですので、保険適応になります。

類似の注射薬を重症便秘で使用した際に起こる、「急激なブレーキ外し」による迷走神経の過剰作用や腸管内圧の急激な上昇が問題となっています。そのため、他剤でコントロール不良な便秘発生後に使用するのではなく、第1選択的(場合によっては予防投与として同時的に)使用するのに適した薬剤です。1日1回1錠で用量調整の必要がないのもアドヒアランス上有利な薬剤です。

患者さんに、便秘に悩まされることが少ない鎮痛を提供しうる薬剤です。是非、お試しください。

インフォメーション

第31回 研究カンファレンス(個の医療研究会共催)

- 開催日時: 2018年10月25日(木) 18:00~19:00
- 開催場所: 神鋼記念病院呼吸器センター・管理棟5階 大会議室 (神戸市中央区脇浜町1-4-47)
- 演題: 寄り道のすすめ 救急医研究留学体験記
- 演者: 神戸市立医療センター中央市民病院 救急救命センター 救急部 柳井 真知先生
- その他: 日本医師会生涯教育講座 1単位申請しております。
- お問合せ先: 神鋼記念会 総合医学研究センター 担当: 兒山 TEL: 078-261-6711

Medical News

2018年10月 Vol.136

Shinko Hospital

Contents

- 特集 膠原病リウマチ診療における地域連携
- 開業医探訪
- 緩和治療科コラム
- インフォメーション

■神鋼記念病院理念
公益性を重んじ、質の高い医療を通して、皆様に愛される病院を目指します。

- 基本方針
1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
 2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることが約束します。
 3. 断らない救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
 4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
 5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-4-47
TEL:078-261-6711(代表)
FAX:078-261-6726
URL:<http://www.shinkohp.or.jp/>
発行責任者: 理事長 山本 正之
編集責任者: 神鋼記念病院広報委員長 山神 和彦

講演会などの詳しい情報はこちらから!!
神鋼記念病院 検索
<http://www.shinkohp.or.jp/>

特集

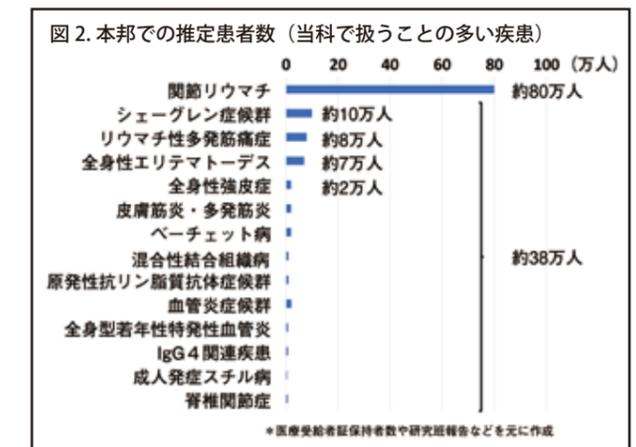
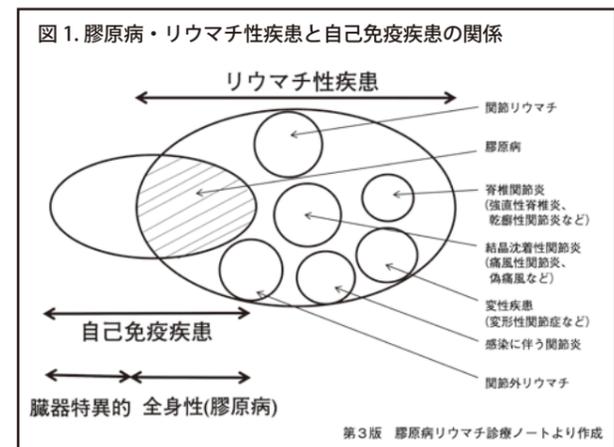
膠原病リウマチ診療における地域連携

神鋼記念病院 膠原病リウマチ科 科長 簀智 さおり

■膠原病とその類縁疾患について

リウマチ性疾患とは、関節やその周辺組織、結合組織に症状が現れるすべての疾患を指します。自己免疫疾患とは、自己抗原に対する獲得免疫が疾患特有の病態を引き起こす疾患を指します。このうちの全身性自己免疫疾患が膠原病にほぼ相当します(図1)。膠原病とその類縁疾患には、厚生労働省の指定難病に含まれる稀少疾患が多く含まれています。どの疾患も疾患

活動性や合併症のモニタリングなど綿密な管理を要し、診断確定後は半永久的に通院加療が必要となります(図2)。膠原病の初発症状は多彩で多臓器に渡るため、近隣病院や当院の他科からの紹介となるケースが多いですが、関節リウマチ、シェーグレン症候群などは近隣クリニックからも多くご紹介いただいております。



■ 関節リウマチの早期診断・早期治療について

本邦での関節リウマチの推定患者数は約 80 万人とされており、30～50 歳代の女性に好発します。治療開始が遅れると QOL の低下を招き、介護対象になりうるため、早期診断・早期治療が重要となります。関節リウマチへの進行が疑われる関節痛の欧州リウマチ学会（EULAR）定義は、臨床的に関節炎は認められないものの、それ以外には説明できない関節痛を有する患者に使用するように設計されており、当科へご紹介いただく上での参考となるかと思えます（図 3）。当科では、自覚症状、身体所見、血液検査、画像検査を組み合わせることで、確定診断および治療方針の決定を行います。治療については、2000 年代に入り、従来型合成疾患修飾性抗リウマチ薬（csDMARDs）に加え、生物学的 DMARDs、分子標的合成 DMARDs などが続々と発売され、治療のパラダイムシフトが起きました。日本で約 8 割の患者さんに使用されているメトトレキサート（MTX）が治療の中心となりますが、病勢に加え、年齢、合併症、社会背景などにより、一人一人きめ細やかに対応した薬物選択を行います。また、疾患活動性をコ

ントロールするには、薬物治療に加え、リウマチ体操などの運動療法、作業療法、禁煙・口腔衛生・日常生活動作など生活指導を含めた早期からの患者教育が重要です。

図 3. 関節リウマチへの進行が疑われる関節痛の EULAR 定義

(問診)
 ・1年未満に生じた関節症状
 ・中手指節間（MCP）関節に位置する症状
 ・朝のこわばりが60分以上持続
 ・早朝に最も強い症状
 ・一親等血縁者が関節リウマチ
 (診察)
 ・手を握るのが困難
 ・MCP関節の圧迫試験（squeeze test）陽性
 このパラメータの組み合わせで報告されている曲線下面積(AUC)は0.93
 7項目中3項目以上が存在するときの感度は90%、特異度は74%
 (Rheumatology 55, 1140-1141より作成)

■ 地域医療連携室を通じた当科紹介の現状

2018 年 4 月～7 月の紹介患者数は 228 人で、約半数が診療所からの紹介です。地域別では約 7 割が中央区、灘区、東灘区からの紹介となっています。紹介患者の約半数は診断確定後であり治療継続・強化、精査の依頼です。残りの半数は診断未確定で、筋骨格系症状がその半数以上を占めますが、乾燥症状、皮膚粘膜症状がこれに続き、原因不明の発熱、検査異常などが紹介理由となっています。当科疾患が多様な症状

を呈することから、内科、整形外科に加え眼科、皮膚科、耳鼻科など幅広い診療科からの診察依頼があります。

かねてより問題となっていた紹介から受診までの待機日数につきましては、2017 年度 32.1 日から今年度 21.5 日まで短縮しております。さらに受け入れ体勢を整えるべく初診枠を増やしておりますが、病状により急を要する場合には地域医療連携室へその旨お伝えいただけましたら迅速に対応させていただきます。

■ 当科における地域連携について

2018 年度 4 月～6 月紹介患者の約 7 割は当科への通院を継続している状況です。先に述べましたように、当科で診療する疾患の多くは診断確定後、半永久的に通院加療が必要となります。急性期病院としての役割を担う上で、軽症者や病状の落ち着いた患者さんにつきましては、専門クリニックへの逆紹介や、かかりつけ医との連携を積極的に行う方針です（図 4）。よりよい病診連携を構築するため、様々な取り組みを行ってまいりますが、何よりもお互いに顔の見える関係であることが重要と考えております（図 5）。

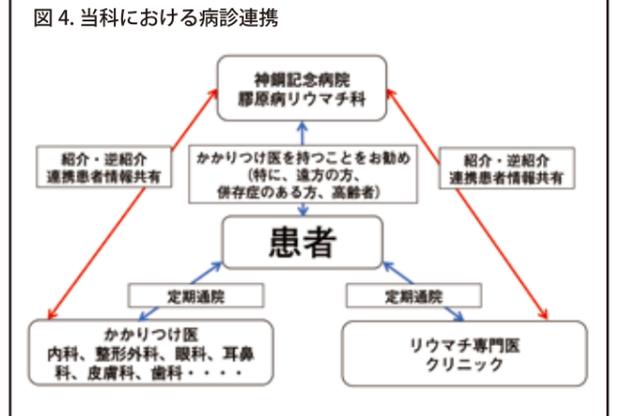


図 5. よりよい病診連携を構築するために

- ・データベースの作成（現在構築中）
紹介・逆紹介状況、かかりつけ医の把握
- ・リウマチ診療支援システムの導入（年度内導入予定）
単位時間あたりの診療可能患者数増加
紹介患者の積極的な受け入れ、待機日数短縮
- ・地域連携会（定期開催中）
患者情報の共有
お互いに顔の見える関係

地域の先生方のお役に立てますよう努力してまいりますので、引き続き患者さんのご紹介を宜しくお願いいたします。さらなる連携強化を図りたいと思っておりますので、ご協力いただけますと幸いです。

開業医探訪 vol.41

◎診療を開始されてどれくらいになりますか？

平成 3 年に、父の知人で引退される先生の診療所を引き継ぐ形で開業しました。阪神大震災で全壊したため一時別の場所で診療しておりましたが、同年に今の新明海ビルに移転・診療を再スタートし、現在に至っています。

◎どのような患者さんが来院されますか？

近隣に企業会社が多いことから、会社員の方の来院が非常に多く医務室のような役割も担っています。そして、定年退職されてからも引き続き来院される方が最近多くなりました。入社健診を希望される方も多く来院されています。

◎診療にあたり心掛けていることは何ですか？

ひとりひとりに、しっかりと時間を確保で

今回の開業医探訪は、JR 元町駅から南へ。旧居留地のオフィス街にあります「内科循環器科 米田クリニック」へお伺いしました。

きる状況にありますので、丁寧に話を聞いて状況に応じてその場で検査ができる体制にしております。開業医として、総合的な診療を行ったうえで、必要に応じて適切な医療機関へ紹介する事を心がけています。

◎ひとこと

開業当初は、会社員の方の診療が中心になっていました。しかし近年、近隣の内科系診療所の閉院があり、高齢の方々の受診が増えつつある状況にあります。病診連携をさらに深めながら、これからは「町医者」として現状を維持しながら診療を続けていこうと思っています。「生の伴走者」として患者さんとともに歩んでいきたいと考えています。

施設名：内科循環器科 米田クリニック

住 所：〒650-0024

神戸市中央区海岸通 4 番地

新明海ビル 402 号室

T E L：078-321-3300

院 長：米田 豊



<診療時間> 診療科：内科 休診日：木曜午後、土曜午後・第 5 土曜日、日曜日、祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～13:00	○	○	○	○	○	○	/
15:00～17:30	○	○	○	/	○	/	/

※土曜日は 9 時～12 時のみ診察致します。